

第四中学校で模擬選挙

区立第四中学校の3学年を対象にして、模擬選挙の出前授業が行われました。模擬選挙の実施にあたっては運営全体の他、立候補者役も東京青年会議所（東京JC）の方々が行っています。

選挙管理委員会では、選挙機材の貸出し、投票整理券や投票用紙の作成、選挙の運営補助を行いました。

授業概要

実施日	平成28年10月28日（金曜） 午後8時45分から2時限
場所	体育館
参加生徒	第3学年 3クラス 81名
内容	候補者役演説、ディスカッション・発表 投票・開票結果発表、ディスカッション・発表
実施団体	公益社団法人東京青年会議所、荒川区選挙管理委員会

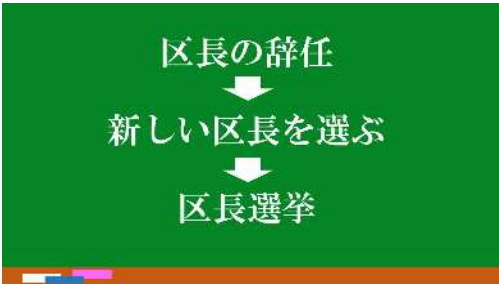
授業風景

さあ、模擬選挙の始まり

架空の都市「未来市長選挙」、模擬選挙のテーマは「財政破綻」です。3クラス合同で、模擬選挙授業の開始です。まず、スクリーンで未来市の現状等を説明します。



財政破綻



立候補者は3人。各候補者はmanifestoを掲げ演説します。生徒さん達からは実現性や具体的な方策など、立候補者に厳しい質問が投げ掛けられました。



立候補者に質問！
金が無いなら
公共施設を無くせば
いいじゃない

立候補者に質問！
金が無いなら
増税すれば
いいじゃない

立候補者に質問！
金が無いなら
企業を呼べば
いいじゃない

6～7人のグループに分かれてディスカッション。候補者（東京JC）は、グループを回ってmanifestoをアピール！ディスカッションの結果も発表しました。



いよいよ投票！

投票所整理券も実物仕様のものを用意しました。投票用紙も実物と同じ材質で、投票箱に入れると自然に開き、開票しやすくなります。



実際の選挙に使用している「投票用紙記載台、投票箱」を使って、本番さながらの投票を体験しました。



櫻井候補：12票、ガッツ候補：65票、田中候補：4票。選挙の結果、「増税し財政を立て直す！」をマニフェストに掲げたガッツ河合候補が大差で当選しました。



財政破たんをテーマにした模擬選挙に、有権者の生徒さん達は、真剣に議論しました。

未来市の有権者として、政策の実現性、市民への影響に関する意見が多数発表されました。